

柴田花守 はなもり 國學者、神道家、畫人。文正六年（月）入肥前國小
 武野燭屋主人、明治十二年七月十一日没（一八九一）。幼名權次郎。
 號七香園、三生、侯園、琴（阿）、笑園、來袋等。和漢の學に通じ
 繪畫の能い者であった。小く一教の教養を修せしむ神道ヲ成し、實行教ヲ興し
 一神祖トシ奉る。

『書畫』の『古道或問』（明治二年九月官許・霜月跋、秋田屋大右衛門他
 製本發行）、『古語拾遺正訂』（全二冊）（明治二五年九月官許・四年臘月
 序、侯園教藏版、大坂・秋田屋大右衛門他刊）、『樹思乃卷』（伊藤
 參行書院・柴田花守補訂、明治二九年九月五日島根県刊、實行社藏版）、
 『書畫南北辨』（全一冊）（明治十五年六月官許在東京侯園藏版、島崎源兵衛
 出版）等。

